取扱補足説明書

DAYTONA corp.

R93933 ①/⑤

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*取扱説明書（GIVI オリジナル）と本書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ず取扱説明書（GIVI オリジナル）と本書も併せてお渡しください。

GIVI E105S（LED）ストップランプキット	適応商品	商品NO.
	V46 シリーズ	93933

■本書は GIVI オリジナル取扱説明書を補足するものです■

※ この商品の使用をもって本書記載の内容全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ず内容をご確認ください。本書記載の内容を守らずに取り付け・取り扱いしたことにより発生した不具合や事故損害は、如何なる場合でも保証対象外であり、当社および GIVI 社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

■ご使用前に必ず、ご確認ください■

※ 商品保証につきましては保証書記載の保証規定に沿って行ないます。また、この商品の使用をもって保証規定全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ず内容をご確認のうえ、説明書・レシートと共に大切に保管してください。保証書やレシートを紛失した場合や保証書販売店記入欄に店舗記載・捺印のない場合、新品購入履歴が不明な場合などは当社所定の商品保証を受けられません。あらかじめご了承ください。

本書では正しい取り付け、取り扱い方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

禁止	禁止の行為であることを告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		

⚠警告

禁止

- この商品は記載されている適応商品以外のケースには使用しないでください。
- 保安基準に抵触するため、ハイマウントストップランプを既に装着している車両には使用できません。
- BMW の各モデルは、車両仕様上、この商品は使用できません。SWS（自己診断機能）が作動し、予期せず走行不能となる場合があります。

⚠注意

実施

- 認証工場など、適切な設備と技能、専門知識のある整備士を有した店舗にて脱着作業を行なってください。作業が適切に行なわれないと、作業中やご使用中に車両や部品を損傷したり、予期せぬ不具合が発生する場合があります。商品自体に瑕疵がなく発生した不具合や事故損害につきましては、如何なる場合でも当社および GIVI 社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- この商品をパッケージから取り出した際に、商品構成や外観に不備がないことを必ずご確認ください。未使用品以外の外観不良は保証対象外につき、万一お気付きの点がございましたら、ご使用になる前のこの段階でお買い求めの販売店に速やかにご相談ください。
- **商品取り付けのため、ケースへの穴開け加工（φ9 目安：1箇所）が必要です。**適切な工具で慎重に作業してください。作業が適切に行なわれないと、カバー破損や取り付け不備（何れも保証対象外）の原因となります。
- ケースへの穴開け加工を行なうことにより発生した不具合や不利益につきましては、如何なる場合でも当社および GIVI 社では一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

2016/06/22

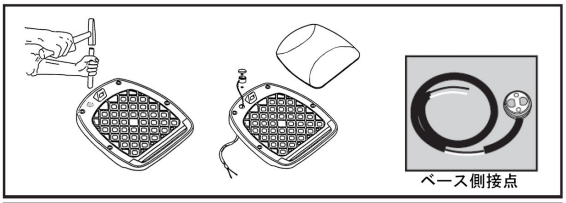
	• 海外製品につき、組み合わせるねじ類の通りが渋い場合があります。事前に十分ご確認いただき、適切な工具で適宜修正してください。無理な作業は部品破損（保証対象外）の原因となります。 • 走行中に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所を点検してください。
その他	• パッケージ開梱時やその後の商品取り付け・取り扱い時に、パッケージや構成部品（端面や突起部、バリなど）で予期せぬ怪我や事故（保証対象外）が発生する場合があります。事前に十分ご注意ください。 • 素材と製造方法、製品個体差により、仕上がり品質はお手元の商品程度となります。塗装や小傷、歪み、バリ、ヒケなど、程度の差につきましてはあらかじめご了承ください。 • 商品保証につきましては保証書記載の保証規定に沿って行ないます。また、この商品の使用をもって保証規定全てを理解・承諾したものとみなします。ご使用前に必ず内容をご理解のうえ、説明書・レシートと共に保証書を大切に保管してください。保証書やレシートを紛失した場合や保証書販売店記入欄に店舗記載・捺印のない場合、新品購入履歴が不明な場合などは当社所定の商品保証を受けられません。あらかじめご了承ください。 • この商品は予告無しに価格や仕様を変更する場合があります。また、文中にて紹介した他の商品についても同様です。あらかじめご了承ください。

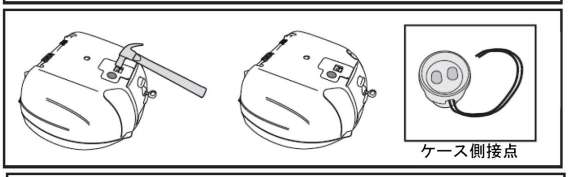
取り付け方法

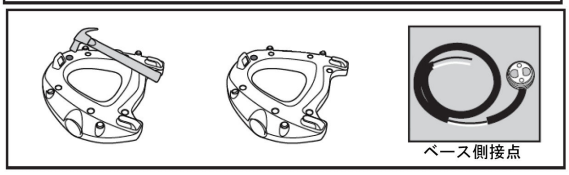
※ 各部品 NO. は GIVI 取扱説明書に準じて記載しております。作業を行なう前に、必ず各部品の構成（種別や入数、寸法、外観など）を十分ご確認ください。

1. 下図を参考にケースとベース各々の接点取り付け部を打ち抜き、指定の接点部品（⑪/⑫）を取り付けます。当て木やポンチを適宜使用して、⑪ケース接点はケース外側から、⑫ベース接点はベース上面から慎重に打ち抜き作業を行なってください。また、打ち抜き後はバリ取りしてください。

※ この作業を行なうことにより発生した不具合や不利益につきましては一切の責任を負いません。







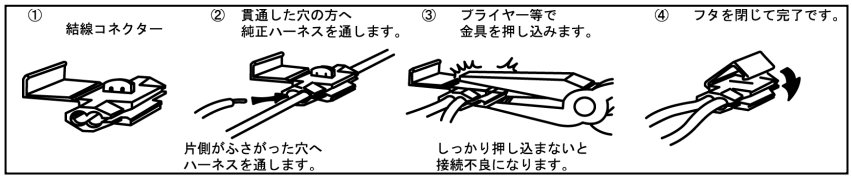
ベース側接点の配線を車体に接続します。
ポンチなどを用いてベースの所定の位置を打ち抜きます。（ウラ側に○マーキングあり）
打ち抜き後、バリ取りしてください。

車種によって、或いは配線の取り回し方法によっては、配線の長さが足りない場合があります。その場合は 0.5 スクエア以上の配線をご用意いただき、延長してください。

ブレーキランプの配線色は、各車で異なります。
サービスマニュアルの配線図をご参照の上、必ずサーキットテスタを用いてご確認ください。

アース(マイナス)側はボディアースせず、ブレーキランプのマイナス配線に接続してください。ボディアースでは確実性に欠け、ランプの正常な点灯を妨げる恐れがあります。

結線コネクタの使い方　※被覆は剥かずに使用します。



要　点

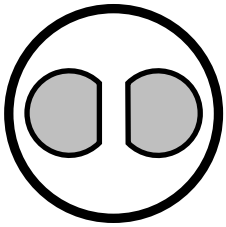
・ＬＥＤ（発光ダイオード）には極性があります。点灯しない場合はボトムシェルの接点部で配線を入れ替えてください。点灯を確認後はボトム接点キャップを組み付け、配線を溝（ガイド）におしこみます。配線がたわんでしまう場合は適宜接着してください。
※製造ロットによって配線の色が異なる場合があります。
・ケース装着の有無にかかわらず、走行時には必ずベースの接点カバーを取り外してご使用ください。
・走行使用前に必ず一旦ケースを外し、接点部の汚れや水分を除去してください。接点部が濡れたり汚れたまま使用すると、予期せぬ故障（保証対象外）の原因になります。

各接点の接合確認について

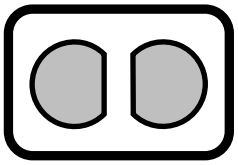
接点を全て取り付けた後は、各部合わさる接点の接合が互いにしっかりできていることを必ず確認してください。また、ボトムシェルに取り付けた接点は各々プッシュ式のため、全ての端子が単独で上下可動できることを必ず確認してください。この確認が不十分だと、ケース装着使用時にフタが閉まらない、ベースにしっかり取り付けできない、点灯不良になる（何れも保証対象外）、などの問題が発生します。

プッシュ式接点が上下可動しない場合

ボトムシェルに取り付けた接点の端子は、右図のようにＤ型形状をしています。配線取り付け時に端子が回転し、正規の状態から動いてしまっていると、端子が単独で上下可動できなくなります。プッシュ式接点端子の上下可動が渋い場合は、端子の位置を正規の状態に必ず戻してからご使用ください。



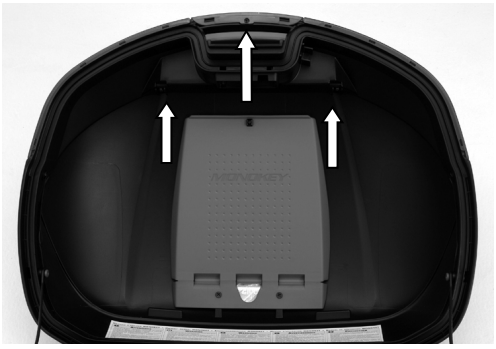
ケース接点端子



ボトムシェル接点端子

2. 下図を参考に、ビス 3 箇所とツメを外し、トップシェルからトップシェルカバーごと、リフレクターを取り外します。

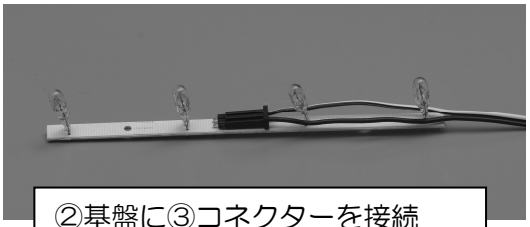
※ リフレクターのツメの勘合を外す際、リフレクター本体や内部部品、トップシェルカバーを破損させないよう十分注意して作業してください。



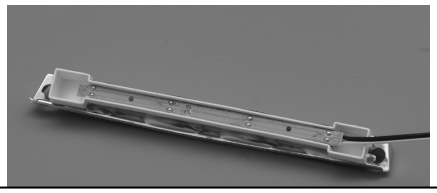


3. 下図を参考に、配線の取り出し位置に注意しながら②基盤に③コネクターを接続し、④樹脂ホルダーにはめ込みます。コネクター抜けや配線被覆破れに注意して作業してください。

※ ②基盤に設けられたコンデンサーと③コネクターが接触するため、③コネクターは②基盤に対して斜めの取り付けとなりますが、異常ではありません。あらかじめご了承ください。



②基盤に③コネクターを接続

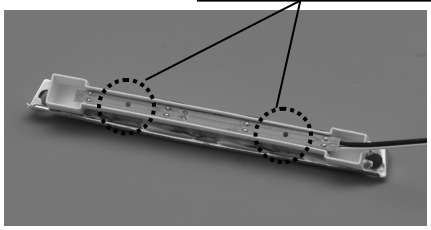


②基盤を④樹脂ホルダーにはめ込む

4. ⑤ビスを使用して、④樹脂ホルダーと②基盤を固定します。

※ 製造ロットにより、⑤ビスの長さが異なります。
⑤ビスが⑥皿ビスよりも長い場合は、GIVI 社取扱説明書と同様の作業（手順 4 は不要）となるため、手順５に進んでください。
⑤ビスが⑥皿ビスよりも短い場合は、この手順４の段階で⑤ビスを使用して、④樹脂ホルダーと②基盤を固定してください。その際、ビスを締め込み過ぎないよう十分注意してください。基盤やねじボス部を破損させる恐れがあります。

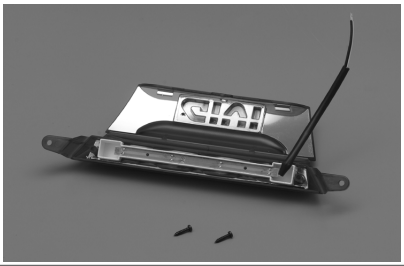
⑤ビス使用箇所

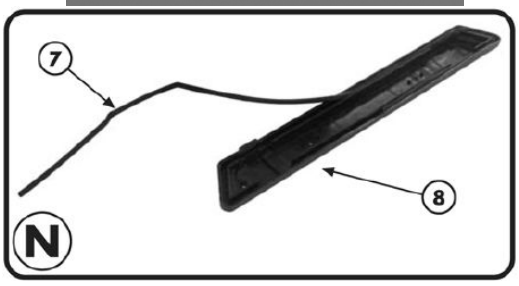


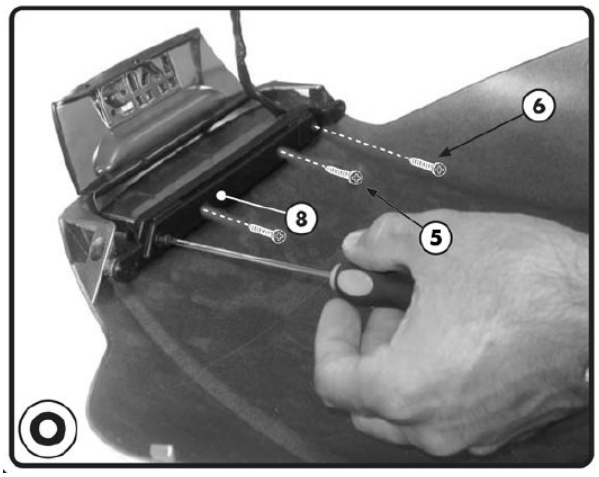
5. リフレクターからホワイトマスク（裏紙）を取り外し、組み付け方向に注意しながら、手順３～4 で作業した④樹脂ホルダーをリフレクターに当てがいます。問題なければ⑧樹脂カバーに⑦パッキンを組み付け、⑥皿ビス（および⑤ビス）を使用して、④樹脂ホルダーをリフレクターに固定します。

※ ⑧樹脂カバーに⑦パッキンを組み付ける際、⑦パッキンが余る場合がありますが、不要な分は切り取ってください。

※ 手順４にて、⑤ビスを使用して②基盤を固定している場合は、この手順５では⑥皿ビスのみを使用してください。





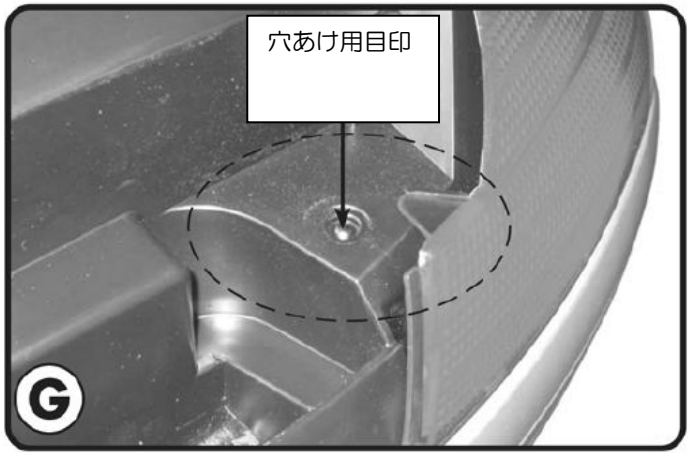


6. ドリルを使用して、ケース外側のセンターリフレクター部右側にある目印（下図参照）に配線通し穴（φ9）をあけます。

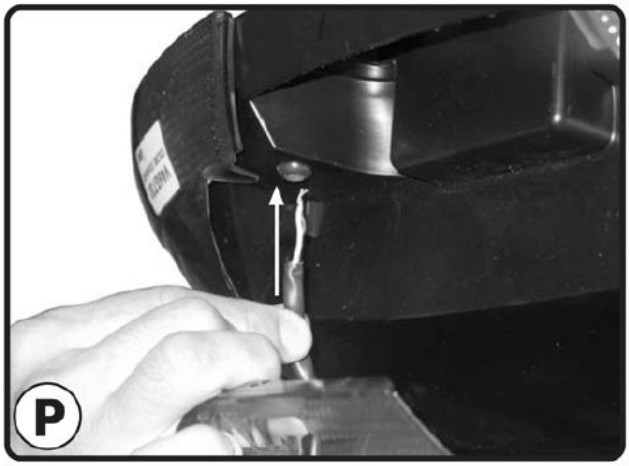
※ 配線は長めに設計されているため、穴位置は精密である必要はありませんが、穴径はφ9 としてください。穴が大きすぎると、その後の作業（防水用ラバーの組み付け）に支障をきたします。

※ ドリル先端チャック部などでケースに不用意にキズをつけないよう、必要箇所にあらかじめテーピングなど施した上で作業を行なってください。

※ この作業を行なうことにより発生した不具合や不利益につきましては一切の責任を負いません。



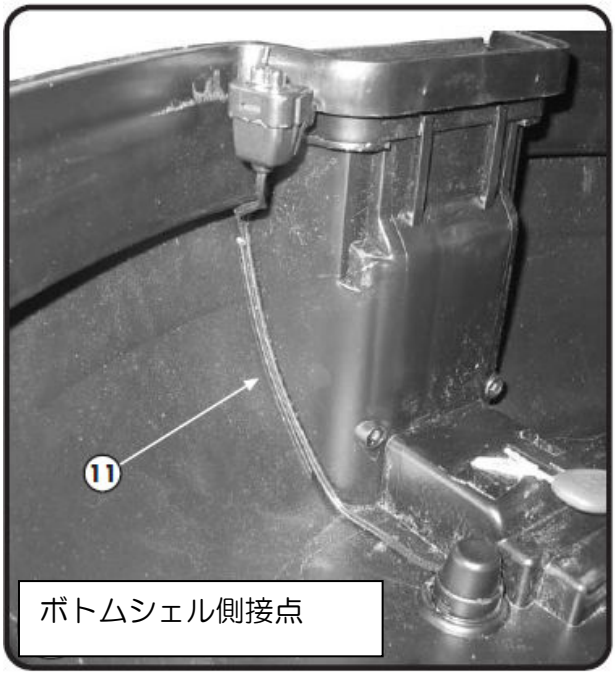
7. 手順６で加工した穴と①防水用ラバー（ケース内側から）に配線を通し、①防水用ラバーを加工した穴の縁にしっかりと押し込みます。
8. ①防水用ラバーが外れないよう注意しながら余分な配線をトップシェル内側に引き込み、手順２とは別の手順でリフレクター本体と内部部品、トップシェルカバーをケースに元通り組み付けます。



9. 配線の先端を⑨シェルコンタクトカバーに通し、⑩シェルコンタクト（上蓋用接点）に接続します。
※ 配線の先端に曲げグセをつけてから端子穴に差し込んでください。

10. 下図を参考に、トップシェルとボトムシェルに各接点を取り付けます。
※ 作業後は、上蓋を何度か開け閉めし、トップシェルとボトムシェルに取り付けた接点が確実に接触することを十分確認してください。接触が不十分な場合は接点取り付け位置を微調整し、エポキシ接着剤やホットボンドなどを用いて接点が確実に接触する位置でしっかり固定してください。この位置調整が不十分だと、ケース走行使用時にランプ点灯不良（保証対象外）が発生する原因となります。





11. 点灯確認を行ない、異常がなければ作業は終了です。

東証JASDAQ上場 株式会社デイトナ　〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮４８０５

本書の記載内容の一部または全部を無断転載することを禁ず。 デイトナ商品についてのご質問、ご意見は
0120-60-4955 まで。営業時間：平日　午前９：00～午後６：00
ＵＲＬ総合　http://www.daytona.co.jp/　　ＧＩＶＩ専用　http://www.givi-jp.com